

(3) 主な地域の遺骨収集帰還の現状

地域	戦没者概数 (人)	収容遺骨 概数(柱)	未収容遺骨 概数(柱)	現状
フィリピン	518,000	148,520	369,480	平成18年度から海外未送還遺骨情報収集事業を民間団体へ委託。 平成22年10月、疑惑が報じられたことから遺骨収集帰還事業を中断し、当該事業の検証を実施。 事業再開にあたってのフィリピン政府との覚書締結に向けた協議中。 海没遺骨は77,620柱。
東部ニューギニア	127,600	50,780	76,820	平成18年度から海外未送還遺骨情報収集事業を民間団体へ委託。 海没遺骨はビスマーク・ソロモン諸島とあわせ27,810柱。
ビスマーク・ソロモン諸島	118,700	58,490	60,210	平成19年度から海外未送還遺骨情報収集事業を民間団体へ委託。 海没遺骨は東部ニューギニアとあわせ27,810柱。
インドネシア (西イアン含む)	84,400	44,400	40,000	平成22年度から海外未送還遺骨情報収集事業を民間団体へ委託。 遺骨収集帰還実施に関するインドネシア政府との協力覚書を平成25年11月20日締結。 海没遺骨は13,000柱。
パラオ諸島	16,200	8,840	7,360	平成26年6月、両国当局間で署名した遺骨収集帰還に関する覚書に基づき実施。
沖縄	186,500	187,070	—	地表面は沖縄県が、重機を伴う大規模な遺骨収集帰還は国という分担で実施。
硫黄島	21,900	10,350	11,550	平成26年3月26日「硫黄島に係る遺骨収集帰還推進に関する関係省庁会議」において策定された取組方針に基づき実施。
旧ソ連抑留者 (モンゴル含む)	54,400	21,110	33,290	平成3年の日ソ協定に基づき、ロシア政府より提供された埋葬地情報を踏まえ、実施。 モンゴルでは平成6～11年度まで実施。

※ 中国については、先の大戦に係る中国の国民感情にかんがみ、遺骨収集帰還の実施は困難。

戦没者概数等は、平成26年7月末現在

※ 北朝鮮については、国交未樹立のため、遺骨収集帰還は未実施。